

現地探訪・イベント

老舗のこころシリーズ第7弾「山本家」の食中酒  
日本を代表する酒所である京都・伏見を支えてきた良質な地下水。豊かな水脈は「伏見の七名水」ともいわれ、とりわけ「白菊井」はふくよかな味わい、まろやかな舌触りが特長です。  
名酒「神聖」で知られる酒蔵「山本家」は1677年(延宝5年)、白菊井の湧くこの地で創業以来、変わらぬ技法を守ってきました。



名酒「神聖」

改装した鶏料理専門店「鳥せい」で食事を楽しまします。  
4月22日(土)午前11時、正午から2時間、神聖酒蔵直売店または京都伏見鳥せい本店(京都市伏見区上油掛町)。730

### 茶室「官休庵」 400年の歴史

武者小路千家「官休庵」特別見学会

京都御所の西にある武者小路通に居を構え、茶道三千家の一つである武者小路千家は、利休の孫、元伯宗旦の次男で初代流祖の「翁宗守」から14代不徹斎宗守まで、400年の時を超え脈々と受け継がれてきました。



編笠門

茶室「官休庵」は寛文年間(1661~73年)に創建。ひわだぶき屋根の「編笠門」や歴代家元が丹精込めた茶庭、名席「弘道庵」「環翠園」「行舟亭」、当代家元が好んだ近代的な「起風軒」などがあります。  
今回は、普段は立ち入ること

が難しい「官休庵」の茶室を特別に拝観。歴史や建物の由来、道具の説明などを聞きます。お点前も披露されます。  
4月12日(水)午前10時30分、午後3時から各90分、武者小路千家官休庵(京都市上京区武者小路通小川東入る)。7000円(呈茶付き)。

0円(食事代など含む)。  
帳長谷川等伯筆「涅槃図」御開帳  
毎年、お釈迦さんを偲ぶ涅槃図の時期に合わせ、本法寺(京都市上京区)では、長谷川等伯筆の「佛涅槃図」が御開帳となります。高さは10畳で、宝物館の1階と2階の両方から拝観するほどの大きさです。庭園や書



本法寺多宝塔

院が特別公開されている妙顕寺も訪ねます。  
3月27日(月)午後1時に京都市営地下鉄丸の内線今出川駅南改札前集合、4時頃解散。3520円(資料、イヤホンガイド代含む)、拝観料1800円別。  
ヴォーリス建築見学&ランチとお花見散策

1927年(昭和2年)にウイリアム・メレル・ヴォーリスとのお花見散策  
4月4日(火)午前9時45分に叡山電車茶山・京都芸術大学駅に集合、午後1時頃解散。6450円(資料、イヤホンガイド、ランチ代含む)。

「現地探訪&イベント」申し込み ファクス(06・6361・3327)か電話(06・6361・3325)、メール(honbu@oybc.co.jp)。



まるで写真のような色鉛筆画

高槻

写真みたいな絵が描ける色鉛筆画  
「写真にしか見えない」とSNSやメディアで話題の、色鉛筆画家6人のユニット「イロドリアル」代表のほんぼんさんが、絵を描いたことがない人でも、写真のように描ける色鉛筆画を指導します。お気に入りの色鉛筆で、下絵の基本から応用技まで幅広く学んでみませんか。描き方テキストがあるので、安心して受講できます。  
第2、第4火曜午後1時~3時30分。1万6500円(3か月分)。  
▲体験3月14日、または同28日のいずれも火曜同時開催、14300円。  
※お手本を見るための、メール受信ができるスマートフォンかタブレットが必須。

### 市民健康講座(来場)

■がん患者・家族のゆるる「ころ」について  
医療におけるがん患者と家族のころのケア  
がん患者がその人らしく、穏やかな毎日を過ごせるように、家族とともにどのように支援していけばいいのかを、稲荷山武田病院の土屋宣之院長に写真が

■みんなで学ぶ健康学  
弱っても大丈夫 自立の時間が過ぎてても老いという自然と向き合う  
「健康で自立したい」という気持ちは大切ですが、自立できなくなったらどう「ダメ」なのか?そんなことはありません。自分でいられることができないこと、それができていたための知識を、おかやま在宅クリニックの岡山容子院長に写真が紹介。事前質問にも答え

「がん患者・家族のゆるる情」についてと題して話します。ほかに緩和ケア認定看護師や臨床心理士がそれぞれの立場から、このころのケアについて説明します。フルート演奏もあります。  
3月12日(日)午後2時~4時、TKPガーデンシティ京都タワーホテル2階

「健康で自立したい」という気持ちは大切ですが、自立できなくなったらどう「ダメ」なのか?そんなことはありません。自分でいられることができないこと、それができていたための知識を、おかやま在宅クリニックの岡山容子院長に写真が紹介。事前質問にも答え

▼申し込み ファクス(06・6361・3327)、またははがきに講座名(「3/12がん患者・家族の緩和ケア健康講座」「4/8みんなで学ぶ健康学」)、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数、質問内容を明記のうえ、〒530・0055大阪市北区野崎町5の9、よみうりカルチャー大阪へ。  
メール(honbu@oybc.co.jp)、2次元コードからでも受け付けます。

### 黒

元気でね! 永明・桜浜・桃浜  
つけたい顔の見分け



講談社ビシー/講談社、二木繁美

国へと旅立つアドベンチャーワールドの永明、桜浜、桃浜の話などを、自らが撮影した写真も交えて語ります。  
教室受講のみなさまには、アドベンチャーワールドのパンダを紹介した「パンダダイアリー2020-2021」(読売新聞大阪本社発行・アドベンチャーワールド監修)をプレゼントします。  
会場の読売新聞大阪本社ビルでは1階Yスクエアで「ジャイアントパンダ写真展」=2月20日~3月11日、無料。3月11日を除く土日は休み。2月23日(木・祝)は開館=も開催。あわせてお楽しみください。

### 二木繁美さん講演会 「もっと知りたい! パンダのあれこれ」

3月11日(土)午後1時~2時  
読売新聞大阪本社ビル  
(大阪市北区野崎町5の9)

教室 オンデマンド

教室1650円、オンデマンド1100円(教室定員70人)

フリーライター&イラストレーターで、アドベンチャーワールド(和歌山県白浜町)のパンダ「明浜」と「優浜」の名付け親でもある二木繁美さん=写真=が登壇。近著は「このパンダ、だぁ〜れだ?」(講談社ビシー/講談社)です。パンダの顔を見分ける方法や、22日の中



### 有栖川有栖ミステリー倶楽部 「英国庭園の謎」

オンデマンド



のどかで美しい英国式庭園で催された宝探しゲームのさなか、資産家が殺害された。残されたのは宝のありかを示す暗号と死の謎……。フェアでロジカルな推理を楽しむ本格ミステリーの魅力が詰まったオンライン講座「有栖川有栖ミステリー倶楽部」の第2弾は、暗号解読の醍醐味が楽しめる傑作「英国庭園の謎」。劇団P・T企画のミステリー劇、有栖川有栖さん本人による作品解説と古今東西の暗号ミステリーの講義など、この講座でしか体験することができない、初心者から上級者ま

「オンライン」サイエンス  
読書カフェ  
毎回1冊の書籍をテーマに、著者を迎えて、直接話を聞き、質問できる講座です。案内役は元日本科学ジャーナリスト会議会長の小出重幸さん。

女性教授が登壇したのは2003年。前身の帝国大学工科大学設立(1886年)から、第1号の野崎京子さんまで、あしかけ3世紀、女性を拒み続けてきたことになりました。経済協力開発機構(OECD)加盟国の中で理系に進学する女性の比率は最低という結果も、こうして歴史と関わりがあるのかもしれない。文化センター(03・3642・4301)へ。

3月1日(水)午後6時15分~7時45分。18000円。申し込みは、2次元コードから。問い合わせは、読売・日本テレビ文化センター(03・3642・4301)へ。

本部 読売新聞大阪本社内  
06-6361-3325

受付時間 ■電話▶月~金の午前10時~午後5時(土日祝休み)  
■メール(honbu@oybc.co.jp)

高槻 松坂屋高槻店6階  
072-681-8218

受付時間 ■電話▶月~土の午前10時~午後8時▶日曜午前10時~午後3時  
■メール(takatuki@oybc.co.jp)

・講座によっては校費などが必要な場合もあります。  
・希望者が一定数に達しない講座は開設を見送ることがあります。

次回は3月4日に掲載予定です。